



◆◆◆◆◆

- 勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。
- 投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

協会では開業準備セミナーを行い、開業した会員から体験談を話していただいている(詳細は8面参照)。今回は同セミナーでも開業体験を話された吉田智洋氏(歯科)から原稿をいただいたので紹介する。

## 開業を考えている先生へのメッセージ

大府市 吉田智洋

開業して五年が経ちました。誰もが予想だにしないような新型コロナウイルス。開業を目指している先生方にも、色々な面で影響が出ていていると思います。実際に医療品の不足や価格の高騰などは今も続いています。しかし、開業を目指す先生方には「なんで自分の時だけ…」と悲観的になら

ないで欲しいのです。今はコロナ禍ですが、どの時代にも開業して来たとしても、景気の悪さ、人材不足、資材不足はずっと前から続いています。国家試験と同じで、過ぎた苦労は忘れてゆくものです。コロナが拍車をかけているのも事実ですが、必ずまたコロナに変わる荒波がやってきます。悔

しいですが「コロナだから…」は言い訳にすぎず、ただ対策を取り続けるしかないのです。今はどんな歯科業界なのか？ 歯科衛生士不足も何十年も前から言われているのにチェアーは何台必要なのか？ 歯科助手の募集をしてもコロナ感染を恐れ敬遠されています。開業候補地の徒歩圏内はどんな層の方が住んでいますか？ 周りの歯科の数は？ など実際に自分で何度も歩いて、見て、感じ、考えて欲しいのです。私は設備は最小限にして開業し、半年後

にユニットの増設やレーザーの導入、三年目に念願のCT装置を導入しました。最初から無理をして結果が伴わないと開業をした事を後悔します。少しずつ結果を出し、予測が上回れば銀行は喜んで公私のお金を融資してくれます。開業とは一喜一憂せず、開業から閉院までの栄枯盛衰を考えていかなければいけないと思います。

私は研修医修了後に受講した各学術セミナーの受講に始まり、「承継セミナー」「新規開業セミナー」「施設基準研修会」など保険医協会の講習にはなるべく参加し、役立ててきました。先生方も協会の方に色々と相談し、開業に役立てて下さい。私は今も寝れないほど悩むこともあります。開業して良かったと思っております。どの道に進もうとも、お互いに頑張りましょう。